

株式会社 オキサイド



山梨県
北杜市武川町牧原1747番地1

2000年(平成13年)設立
TEL 0551-26-0022(代表)

<http://www.opt-oxide.com>

代表取締役
古川保典

21世紀の
フォトニクス時代を担う
光学用酸化物単結晶
メーカー

独立行政法人物質材料研究機構で得られた研究成果をもとに、独創的な製造装置を開発し、高性能・高品質単結晶を供給する開発型ベンチャー企業

国立研究所発のベンチャー企業1号

光学単結晶材料メーカー株式会社オキサイドは、独創的な単結晶製造装置と最新の技術を融合した事業を展開するベンチャー企業である。単結晶体の用途は光情報通信機器の重要な構成素子を提供し、波長変換、光変調、光記憶などの機能を有するデバイスに組み込まれる。また、種々のレーザー応用に対する高性能単結晶体を供給する。国立研究機関の研究員であった古川社長は、ベンチャーとして起業を先駆け、成功をおさめた。オキサイドの技術コアは高性能、高品質を有する単結晶体の製造プロセス制御技術と設備設計技術にある。

二重坩堝製法による高性能・高品質単結晶体の実現

事業の立ち上げは山梨県小淵沢町でスタートし、当初は製造歩留まりとの戦いであった。材料開発はもとより、単結晶の成長プロセスの解明を進め、試行錯誤の中から、設備の全自動運転を進める研究集団の情熱と努力が実を結んでいった。オキサイド社の提供する単結晶体は極めて高性能・高品質で大企業の研究機関でも注目される。2003年には、日本結晶成長学会で技術賞を受賞している。翌年には、大阪大学が開発した特許を受け、紫外線レーザー装置用結晶を開発している。

波長変換用光学単結晶体の市場をリード

2005年、本社を北杜市に移転し、生産体制を大幅に増強した。本格的な光通信時代がはじまり、重要なデバイスの性能を支える高性能、高品質単結晶への要請は強まりつつある。市場は創成期にあるが波長変換用光学単結晶の分野ではシェア60%を超えていると思われる。海外企業との連携でグローバルな販売体制も整備してきた。21世紀のフォトニクスネットワーク時代を担う新しい光学用酸化物単結晶を、世界へ供給する研究開発型ベンチャー企業として一層の成長が期待される。

■二重坩堝法
による単結晶体の
製造



■SBN結晶
光変調器、ドメインエン
ジニアリング素子などの
新規電気光学素子用

